

登録速報

農薬名：ヤイバ1キロ粒剤（登録番号：第23063号）

適用拡大登録月日：平成27年8月5日

適用拡大登録内容：

- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg/10a	1回	湛水散布又は 無人ヘリコプターによる散布
		移植時			田植同時散布機で施用

ピリミスファンを含む農薬の総使用回数	フイントラザミドを含む農薬の総使用回数
2回以内	1回

注意事項の変更：

【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカは3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前

が本剤の散布適期である。

- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 略
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意すること。
 - 水源池、飲料水などに飛散、流入しないように十分注意する。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上